

NU3MT 2026

研究のおもしろさは、きっと伝わる
3分間の真剣勝負！



【開催日時】

2026年10月2日(金)

17:30～19:00

Zoomウェビナーにて開催

【要事前申込】 10月2日(金)正午まで



◆問合せ先◆

名古屋大学 Development Office

TEL : 052-747-6559

mail : home-coming

@kikin.nagoya-u.ac.jp

*アーカイブ配信有(事前申込不要)。投票はライブ配信中のみ可

名古屋大学学術奨励賞を受賞した博士後期課程の学生たちが、
“最先端の研究を誰にでも伝わるように3分で伝える”
という難題に挑みます。

若き研究者たちの挑戦を見届け、あなたの一票で応援してください。

出場者紹介



【出場者情報の詳細は裏面へ】



【出場者紹介】



Entry #1 | 理学研究科

栗田 岳歩さん

**単細胞から多細胞へ
生命進化の謎に迫る**

海洋由来の真菌を手がかりに、生命が単細胞から多細胞へと進化したプロセスの解明に挑みます。小学生の頃から生き物が好きだった栗田さんが伝えたいのは、「知りたい！」に突き動かされ、自然の原理を追い求める面白さです。

Entry #2 | 創薬科学研究科

田中 裕真さん

**化学で、自分の
世界観を表現したい**

有機リン化合物の新しい合成法と、その反応の仕組みを研究。医薬品など幅広い用途を持つ有機リン化合物の「つくり方」に新たな可能性を拓きます。「世界でまだ誰も知らない」結果を得る特別感が研究の魅力だと思います。

Entry #3 | 理学研究科

山ノ内 勇斗さん

**AIで、動物の
「その瞬間」を捉える**

AIで動物の行動をリアルタイムに捉え、その行動に応じた働きかけも可能にする技術を開発。動物の行動の仕組みを解き明かす新たな研究手法として期待されます。目指すは、日本から世界へ発信する国際的な研究拠点づくり。

Entry #4 | 理学研究科

瀬野 泉美さん

**138億年の宇宙の
ドラマを、3分間に**

天の川銀河を取り巻く高温ガスが、星を生み出す材料として銀河へ供給される仕組みに迫ります。複雑なデータの解析から本質を捉え、「目の前の霧が晴れるように」理解が深まる瞬間が醍醐味だそうです。

Entry #5 | 環境学研究科

七原 宇紀さん

**なぜ、迷う人と
迷わない人がいる？**

建築デザインと認知心理学を掛け合わせ、人が建物の中で目的地を探す「経路探索」を研究。人がなぜ迷うのかを解き明かし、より迷いにくい空間設計につなげます。見えなかったものが見えてくる感覚が、研究の魅力だといいます。

Entry #6 | 情報学研究科

松清 優樹さん

**AIは、新しい薬を
生み出せるか**

細胞の反応を示す生命情報と生成AIを組み合わせ、新しい医薬品候補となる分子を設計します。有機合成や薬理学など異分野との共同研究も経験し、「研究者の数だけアプローチがある」という研究の奥深さを感じています。

Entry #7 | 生命農学研究科

倉満 健人さん

**食べるものが、
腸内細菌をどう変える？**

食品成分が腸内細菌叢を形づくる仕組みを研究。食と腸内細菌の関係を解き明かし、食品と健康をつなぐ新たな知見を探ります。「この発表が誰かの博士課程進学のきっかけになれば嬉しい」と3MTに挑みます。

Entry #8 | 工学研究科

伊達 俊坪さん

**AIで、手術中の
神経の変化を捉える**

脊髄・脊椎手術中の神経モニタリングに機械学習を活用し、より客観的な判断手法の確立を目指します。AIを医療現場の判断にどう生かすか、その可能性を追究します。趣味でもソフトを自作する「ものづくり派」です。

Entry #9 | 創薬科学研究科

森田 海斗さん

**薬の分子を、狙った
「かたち」につくり分ける**

薬の分子は、立体的な「かたち」の違いによって、その作用が変わることがあります。狙った「かたち」の分子を選択的につくる方法を研究。新たな発見がまた次の問いへとつながっていくことに研究の面白さを感じています。

